







私と農作業

河合区 澤田 順子



私は田畑のある稲作、野菜作りをしている兼業農家に嫁ぎましたが、稲刈り時に手伝わっていた位のもです。

私が農作業をするようになったのは、義母が亡くなり、やりかっていた畑をどうするかとなった時で、会社勤務をしていた五十代半ばでした。農業のことは、何一つ分かんかったので、最初は育てている野菜を採るくらいで、作業はとなると何をどうすればいいのかとまどいばかりでした。それでも会社から帰って来てからと、日曜日に草が生え大変でした。草との闘いでした。

近くで畑をしてみえる先輩お姉さま方には「植えておけば出来る」と種から育てた苗を頂き、「こういう肥料を土に混ぜる」とか、「苗の回りに入れ込んだりすれば」と言われ判らない事は聞いたりして育ててみる様になりました。



先輩お姉さまの一人、林みよ子さん(左)と

はみごとに出来ていて、採るのが楽しみでした。苺は、十数年経った今でも毎年育てています。自分で育てた野菜が出来るのも楽しみが倍増します。孫達にも話が出来ると、収穫もお願いします。

又近所の人達にも、種から育てた苗が余れば頂き、早くに出来た野菜や加工したものなども頂き、作り方などの話をしたり、ふれ合いの機会にもなっています。私の野菜作り、人間性作りに大いに役立っている幸せも感じています。

いろいろな事情で作業が出来ない時も多々ありましたが、草の中でも育っていたり、草があつたお陰で枯れずに生き残った野菜があつたりと、思わぬ収穫が出来た事もありました。

野菜作りは奥深く、毎年うまく出来るとも限りませんが、私の育てた野菜を友人や親戚に届ける事もあり「おいしかったよ」と言われ気を良くしています。私の周りには、日頃より声をかけて頂き野菜作りを教えて下さる人や、恵まれた環境がある事に感謝しています。こうして会社を退職して私と私流の農作業は結びついて、今に至っています。

泉町各区の夢 泉の自治だより編集部

前号に引き続き、泉町役員へのアンケート結果から「各区の夢」をお知らせします。

- I 区・町内の活性化
■ 花火や公園の桜などの環境を生かした町の活性化(大富区)
■ 安心・安全な区・町内に(久尻区)
■ 若者が住みたくなる街に(大富区・久尻区)
■ 若い人が増える街・定住する町に(久尻区・泉ヶ丘・五斗時)
II 町内会活動の工夫
■ 皆が参加しやすい町内会の実現(久尻区)
■ 高齢者と幼い子供が交流できる場・催し物を増やす。(大富区・神楽町・定林寺区)
■ One family となつて行事の計画をし、多くの人が集える町内に(大富区・島田)
■ 古くからの住民と新しい住民が一つになつて町内会を盛り上げていく(大富区)
■ 皆で半日程度コミュニケーションが図れるイベントを開催できるようにしたい(久尻区)
■ 町民野球・町民運動会優勝を目指す(駅前区)
■ 多国籍な町内なので、それぞれの国の長所を活かした交流を進める(久尻区・泉ヶ丘)
III 町づくり(環境整備など)
■ 下水道の早期整備(久尻区)
■ 自然を活かした町づくり(河合区)
■ フロンティア高校への道を、四季を感じられる人気の街道に(河合区・山手)
■ 子供が遊べる公園や川で遊べる場所が欲しい。(河合区)
■ 農業に代わるもの(産業)を育てる(河合区)
いずれの区でも、基本的に「住みやすい町」作りを目指しているようですね。人口が減ってもそれぞれの街の良さを残し新たな工夫を加えることで、誇りに思える故郷を維持したいものです。



めづらかなる涅槃図 泉の自治だより編集部長 林 幸七



涅槃図と、その説明をされる嶋香寺十八世御住職 鬼頭博英師[河合区]

私の菩提寺に「珍しい涅槃図」があるということで、先日拝観させて頂きました。本堂に入りますと正面祭壇横に大きな涅槃図が架かっていました。これは、本来2月15日に展示するという事で、訳をお尋ねすると、実はその日がお釈迦様の命日であり、「涅槃会」が開かれるとのことです。涅槃図とは、釈迦が亡くなる時の様子とその弟子たちが嘆き悲しむ様子を描いたものですが、素人の私の目を引いたのは多くの動物たちでした。象や鳥ばかりでなくカエルやミズミズまでいます。中には「人面鳥」(図2)まで！何故このような生き物が描かれているのでしょうか？御住職に説明して頂きましょう。『まずは、中心に横たわっているのが釈尊で「頭北面西」の姿(北枕の由来)で描かれ、体の色が他の人達とは違います。制作当時は金色で、釈尊が涅槃に入っていることを表しています。周りにいるのは釈尊の十大弟子やインドの神々、そしてその周囲には沙羅の木が八本。その内の四本は枯れて白くなり、他の四本は青々と茂って

お断り「隠居山の秘密(下)」は都合により次号に掲載いたします。

訂正 12月号「我が街定林寺を見つめ直す」の記事中、組合加入事業者数が現在「15軒」とあるのは、「24軒」の誤りでした。また、6月号の挿絵の作者名が「加藤充子」とありますが、表紙は「加藤淑子」、昔話は「加藤美津子」の誤りでした。お詫びして訂正致します。

編集後記
コロナ禍を引きずったまま今年度も終えようという気持ちで、泉の多くの行事が中止となる中、私達編集部員は記事(話題)を求めました。町民の皆様のご協力のおかげで、最終号に辿り着くことが出来ました。至らぬこと多く執筆者などにもご苦労をお掛けする場面もあつたかと思ひますが、御容赦の程お願い申し上げます。

令和3年度泉町のイベントカレンダー (4月~5月)

Table with 5 columns: 月 (Month), イベント (Event), 主催 (Organizer), 開催日 (Date), 会場 (Venue). Rows include events like school start, festival, and sports events.

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更の可能性がありますので承知置き下さい。